

20 特別勘定に関する指標等

【1】特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区分	平成24年度末		平成25年度末	
	金額		金額	
個人変額保険	255		281	
個人変額年金保険	-		-	
団体年金保険	-		-	
特別勘定計	255		281	

【2】個人変額保険（特別勘定）の状況

①保有契約高

(単位：件、百万円)

区分	平成24年度末		平成25年度末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険（有期型）	-	-	-	-
変額保険（終身型）	488	1,448	479	1,436
合計	488	1,448	479	1,436

②個人変額保険特別勘定資産の運用の経過

<運用環境>

- ・国内債券市場：国内10年金利は、日銀の追加金融緩和政策決定を受け4月に過去最低利回りを更新した一方、5月には一時1%台となる等振れの大きい展開でした。その後は低下基調で推移しました。年度末はやや上昇して引けました。
- ・国内株式市場：TOPIXは、米国の量的金融緩和政策縮小や新興国市場への警戒感から軟調となる場面もありましたが、円安の進行や企業収益改善を好感し、上昇しました。年明け以降は軟調な展開でした。
- ・海外債券市場：米国10年金利は、量的金融緩和策の早期縮小観測から、上昇基調で推移しました。12月に量的金融緩和政策の縮小が決定すると、一時3%台に乗せる場面もありました。
- ・海外株式市場：S&P500は、量的金融緩和政策の縮小や新興国市場への警戒感から軟調となる場面もありましたが、年度を通しては上昇基調で推移しました。
- ・為替市場：円は、対ドルでは日銀の追加金融緩和政策により円安が進行、年央には株式市場の下落などを受け円高に転じる場面もありましたが、その後は日米金融政策の方向性を意識した円安が進みました。対ユーロも円安が進みました。

<運用結果>

- ・年度の運用利回りは、13.97%となりました。資産別では国内債券（0.64%）、国内株式（20.81%）、外国債券（13.97%）、外国株式（29.24%）ともプラス利回りとなりました。

【3】 年度末個人変額保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区分	平成24年度末		平成25年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	6	2.6	7	2.5
有価証券	245	96.0	270	96.2
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国証券	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—
株式等	—	—	—	—
その他の証券	245	96.0	270	96.2
貸付金	—	—	—	—
その他	3	1.4	3	1.3
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	255	100.0	281	100.0

【4】 個人変額保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度
	金額	金額
利息配当金等収入	2	8
有価証券売却益	—	—
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	37	61
為替差益	0	0
金融派生商品収益	—	—
その他の収益	0	0
有価証券売却損	1	—
有価証券償還損	—	—
有価証券評価損	5	35
為替差損	0	0
金融派生商品費用	—	—
その他の費用	—	—
収支差額	32	35

【5】 個人変額保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

① 売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区分	平成24年度末		平成25年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	245	31	270	26

② 金銭の信託の時価情報

当社は、平成24年度末、平成25年度末とも残高はありません。

③ 個人変額保険特別勘定のデリバティブ取引の時価情報

当社は、平成24年度末、平成25年度末とも残高はありません。

【6】 個人変額年金保険（特別勘定）の状況

当社は、平成24年度末、平成25年度末とも残高はありません。